maxell

ノイズキャンセリングヘッドホン

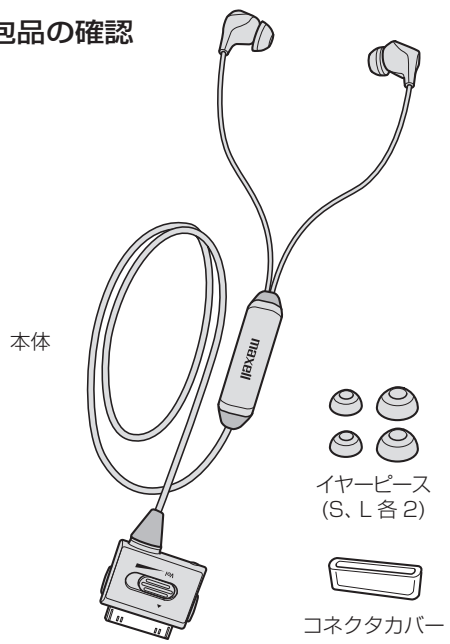
HP-NC20.IP

Ver. 1.0

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。
また、この取扱説明書および保証書は大切に保管してください。

梱包品の確認



1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。
  また無断転載は固くお断りします。

免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

⚠危 険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷 *1 を負うことがあり、かつ、その切迫の度合いが高いこと」を示します。
⚠警 告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠注 意	「誤った取り扱いをすると人が傷害 *2 を負う可能性または物的損害 *3 が発生する可能性があること」を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものを示します。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・愛玩動物にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の例	△	△記号は製品の取扱において、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	⃠	⃠記号は製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	●	●記号は製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

⚠危 険

航空機の離着陸時に、iPod 本体から取り外してください。

強制

この製品は、航空法施行規則により航空機内での使用が制限される「離着陸時に作動させてはならない電子機器」に該当します。
航空法第 73 条の 4 第 5 項の規定（安全阻害行為等の禁止等）に従い、離着陸時には本製品が作動しないようにiPod 本体から取り外してください。

⚠警 告

修理や改造、または分解しないでください。
火災、感電、またはけがをする恐れがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、当社は一切責任を負いません。
また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料となります。

運転中はヘッドホンを使用しないでください。
自転車やオートバイ、自動車などの運転中には、ヘッドホンは絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえにくくなり危険です。また、このヘッドホンは周囲の音を低減するタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では絶対に使用しないでください。

乳幼児の手の届く所へ置かないでください。
飲み込んだり、コードが首に絡まったりすると窒息などの原因になる恐れがあります。
万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠注 意

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

はじめから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。操作する前には、音量を絞っておいてください。

異常に温度が高くなるところへ置かないでください。
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

水などの液体をかけたり、ぬらさないでください。
ショートや発熱の原因となります。

肌に合わないと感じた時は使用をおやめください。
日立マクセル(株)お客様ご相談センターへご相談ください。

3 特長

- 周囲からの騒音を約 1/9 に低減させ、より静かな環境で快適に音楽が楽しめるノイズキャンセリングヘッドフォンです。
- iPod 本体の電源で作動するため、個別に電池の残量を気にする必要がありません。
- 磁気のゆがみを低減し、高音質を実現する高磁力のネオジウムマグネットの磁気回路を採用しています。

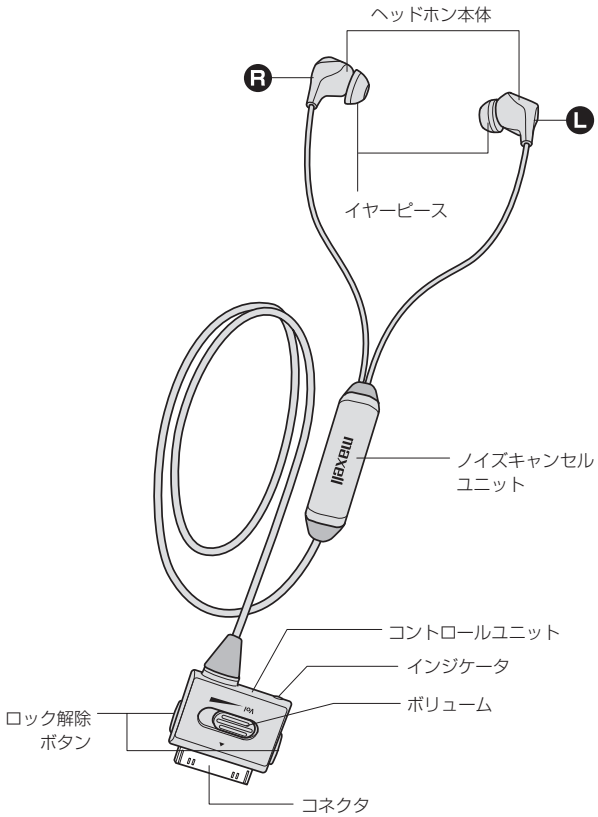
4 取り扱い上の注意

- 接続する iPod の取扱説明書も必ずお読みください。
- 雨や水に濡らさないでください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や、湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。故障の原因となります。
- ヘッドホンやコネクタの取り扱いはていねいにおこなってください。
- コードを引張ると断線の原因となりますので、ヘッドホン本体を持ってお取り扱いください。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- コードを iPod 等に巻きつけないでください。断線の原因となります。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音を打ち消すもので、高い周波数帯域の騒音に対して効果はありません。また効果には個人差があります。
- 静かな場所や騒音の種類によってはノイズキャンセリング効果が感じられない、または騒音が大きくなると感じられる場合があります。
- ヘッドホンのかけ方によってはノイズキャンセリング効果が十分に得られないことがあります。
- 携帯電話の影響により騒音が入ることがあります。このような場合いは携帯電話から本機を離してください。
- 音量を上げすぎると音が外に漏れ、まわりの人の迷惑になりますのでご注意ください。
- 乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用または保存によって劣化することがあります。
- 汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。
- 本機を使用中に体調が悪くなった場合は、直ちに本機の使用を中止してください。

5 iPod 対応機種

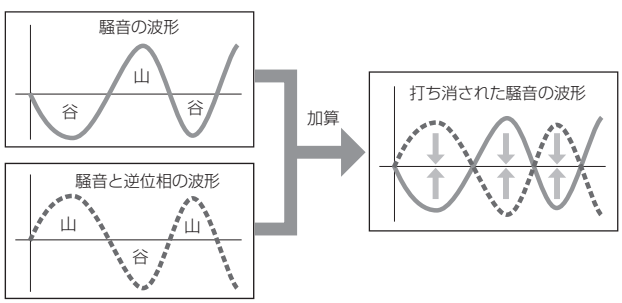
- iPod第4世代
- iPod第4世代（カラー液晶）
- iPod第5世代（ビデオ）
- iPod classic
- iPod mini
- iPod touch第1世代／第2世代
- iPod nano第1世代／第2世代（アルミ）／第3世代（ビデオ）／第4世代

6 各部の名称



ノイズキャンセリングの原理

・ヘッドホンに内蔵されたマイクが周囲の騒音を拾います。
・電子回路が騒音を分析、その騒音に対して逆位相の音を出すことにより、耳元で騒音を打ち消します。
・これにより騒音を約９分の1に低減し、電車や飛行機などの乗り物内でも音量を上げすぎることなく音楽を楽しむことができます。



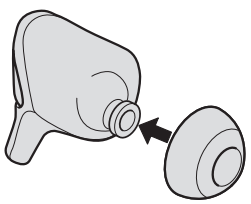
7 ご使用方法

1. イヤーピースを選ぶ

お買い上げ時には、M サイズのイヤーピースが装着されています。

Mサイズが耳に合わない場合は、付属の L サイズまたは S サイズに交換してください。

イヤーピースが耳に合わない場合は、密閉性が低下し低域が不足したり、ノイズキャンセル効果が小さくなる場合があります。



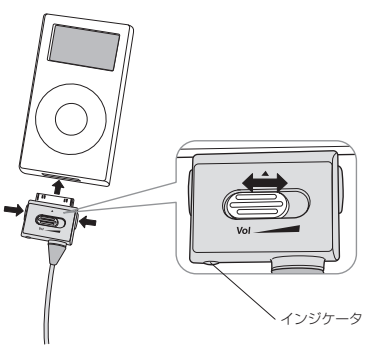
ご注意

イヤーピースを交換する際は、イヤーピースを奥までしっかりと装着してください。奥までしっかりと装着されてない場合は、イヤーピースがはずれて耳に残ることがあります。

耳に残った場合、耳の奥に押し込まないよう十分注意してください。

2. iPod に取り付ける

iPod の電源がオフの状態で、図のように iPod 本体と本製品を静かに差し込みます。差し込むと本製品の電源がオンとなり、インジケータが点灯します。電源がオンとならない場合は、iPod のプレイボタンを押してください。



ご注意

iPod に本製品を着脱する際は、かならず iPod の電源をオフにしてください。

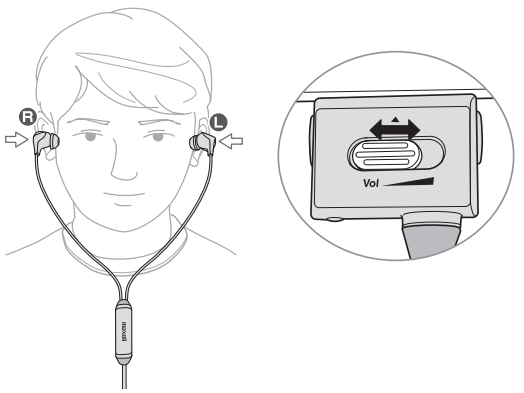
また、無理な力を込めたり、勢いよく着脱したりしないでください。破損や故障の原因となります。

特に、iPod と本製品コネクタ部には、無理な力がかからないようお取り扱いください。

3. ヘッドホンを装着する

R を右耳に、L を左耳に装着してください。

装着後、iPod を再生し、音を聴きながら本製品のボリュームを調整してください。



ご注意

本製品は、iPod のライン出力を使用しているため、ボリューム調整は、本製品コネクタ部のスライド操作のみとなります。

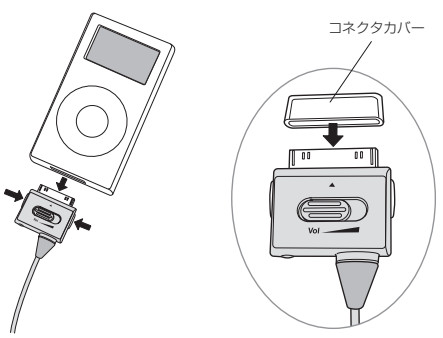
iPod 本体のタッチホイールでのボリューム調整はできません。

4. 使い終わったら

ヘッドホンを耳からはずし、iPod の電源をオフにします。

iPod 本体を押さえて、本製品のロック解除ボタンを押しながら静かに引き抜いてください。

機種によっては、iPod の電源がオフにならない場合があります。その時は、本製品を引き抜き後、iPod の電源をオフにしてください。



ご注意

iPod に接続している場合、待機状態でも iPod のバッテリーが消費されます。ご使用後は、本製品を取り外してください。

また本体から取り外したあとは、付属のコネクタカバーを取り付けて保管ください。カバーをしないとコネクタにゴミが入り、故障の原因となります。

8 困ったときは？

困ったときは次のことをご確認ください。

音が出ない	・iPod との接続を確認してください。 ・iPod に本製品をしっかりと差し込んでください。 ・iPod のバッテリー残量を確認してください。 ・本製品のスライドボリュームを上げてください。
音がひずむ	・ボリュームを下げてください。 ・iPod のバッテリー残量を確認してください。
ノイズが入る	・携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。近くに携帯電話がある場合は離してください。
左右で音が違う	・ヘッドホンをいったん耳からはずして装着しなおしてください。
低音がでない	・イヤーピースのサイズを換えてください。
ノイズキャンセルの効果が弱い	・イヤーピースを耳に密着させてください。 ・イヤーピースのサイズを換えてください。

9 主な仕様

品名	ノイズキャンセリングヘッドホン
型式	密閉ダイナミック型
使用ユニット	直径 9mm
音圧感度	103dB/mW
再生周波数帯域	20 ～ 20,000Hz
雑音抑圧周波数帯域	50 ～ 700Hz
雑音抑圧量	約 20dB（200Hz にて）
電源	iPod 本体より電源供給
質量	22 g（コードを含む）
付属品	イヤーピース（S/M/L 各 2 個）M は本体に装着

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ノイズキャンセル機能は、Phitek 社の ANR（Active Noise Rejection）技術を使用しています。

10 保証とアフターサービス

■ 保証書に関して

保証書は必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。また、保証書はよくお読みの上、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■ 本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

日立マクセル株式会社 お客様ご相談センター

〒102-8521　東京都千代田区飯田橋 2 － 18 － 2

TEL (03)5213-3525 FAX (03)3515-8261

受付：月曜日～金曜日まで（ただし祝祭日および当社休業日を除く）

ホームページ　http://www.maxell.co.jp/

M18M0808A11